

普及活動情勢報告（令和2年10月分）

高吾農業改良普及所

ニラ栽培の基礎を学ぶ！！



10月2日、ニラの研修生や就農年数の浅い生産者を対象としたニラの勉強会を行い、5名の出席がありました。

農業改良普及所からニラの土壌肥料と病害虫対策について講習を行ったあと、JAから品種特性や経営収支モデル、今後ニラ農家が目指すべき姿についての講習がありました。生産者からは、「農薬の組み合わせについての情報があればもっと教えて欲しい」、「作の途中でpHが下がったときの対処法は？」といった意見がありました。

今後も農業改良普及所は、研修生や就農年数の浅い生産者を重点指導対象とし、栽培技術と経営管理の両面から指導をしていきます。

仁淀川町で集落営農研修会を開催



9月18日、仁淀川町別枝集落で鹿児島県「やねだん」豊重氏を講師に招き、「地域づくり」をテーマに研修会を開催し、31名の参加がありました。住民参加型の地域づくりの取組内容を聞いたあと、役員から別枝地区の見所や高齢化の現状を報告してもらい意見交換を行いました。

豊重氏からは地域の資源であるお茶を活かすアイデア等が示され、参加者からも「地域資源を活かした活動を行っていきたい」との発言がありました。

農業改良普及所は、これからも地区座談会や研修会を継続し、別枝地区の活性化に向けた活動を支援していきます。

6次産業化の推進～仁淀川町活性化のための加工品づくり～



秋葉生活改善グループ5名が、10月22日に、「ヨモギきんつば」と「ぴりからこんにゃく」を、仁淀川町別枝の加工場で試作し、検討しました。

「ぴりからこんにゃく」は、味が違う2種類を試作し、真空パックしました。農業改良普及所は、試作の助言とともに原価計算を支援し、「今まで良くわかってなかった経費が明らかになった。原価計算は必要！」といった声がありました。

今後、6次産業化セミナーで試作品のアドバイスを受けた後、グループ員とともに改善し、仁淀川町の土産品となる商品化に向けて支援します。

佐川町斗賀野でイチゴ勉強会を開催



佐川町斗賀野地区では3戸がイチゴを栽培しています。10月13日に佐川町斗賀野で定植後の勉強会が開催され全戸が参加しました。勉強会では最初にGAPの自己点検を行い自らの営農を振り返った後、農業改良普及所が栽培初期の管理を確認しました。

参加者からは「高齢になりハダニが見つけづらくなってきたから巡回指導に来て欲しい」、「農薬の情報が欲しい」という声が聞かれました。

農業改良普及所は、部会活動支援や個別巡回指導により病虫害防除指導をすすめ、イチゴの生産安定を支援していきます。